松原町防災マップ（地震・浸水）

台風時等松の木倒木注意

歩道と私有地の段差に注意

地震時歩道橋使用注意

至 松陵中学校
（敦賀市指定避難所）

至 市立体育館
（敦賀市指定避難所）

至 敦賀高等学校
（敦賀市指定避難所）

至 松原小学校
（敦賀市指定避難所）

敦賀市営野球場

市立松陵中学校

永建寺

松原保育園

松原町会館

防災倉庫

松原のいろ幸
（福祉避難所）

グループホーム幸
（福祉避難所）

至 松原コミュニティセンター
（敦賀市指定避難所）

願通寺

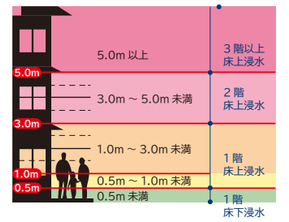
凡　例

- 消火栓
- 防火水槽
- 河川・水路
- 地区境界線
- ブロック塀注意
- 溝蓋なし注意
- 狭溢道路注意
- 看板落下危険

浸水深と建物被害

浸水深

- 5.0ｍ以上 ～ 10.0ｍ未満
- 3.0ｍ以上 ～ 5.0ｍ未満
- 1.0ｍ以上 ～ 3.0ｍ未満
- 0.5ｍ以上 ～ 1.0ｍ未満
- 0.5ｍ未満



浸水深が 0.5mに達してから、0.5mを下回るまでの時間を**浸水継続時間**といいます。
敦賀市では、浸水継続時間が最も長く続く場合で、１日程度と想定されています。

避難時には蓋のない側溝、ブロック塀の倒壊・頭上からの落下物に注意

※この地図は、概ね 100 年に一度の降雨（1 日間の総雨量 220 ㎜）により、笙の川水系の各河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と浸水深の最大値を示しています。

令和8年7月作成

災害時の行動

※いざという時に素早く行動できるよう、普段から行動を確認しておきましょう。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
災害の切迫・発生	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮	キキクル			
	レベル5特別警報	災害切迫	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険　直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。 ・いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに ・移動等する。	5
	＜警戒レベル4までに必ず避難！＞				
2時間～0時間程度前	レベル4危険警報	危険	避難指示 第4次防災体制 （災害対策本部設置）	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
数時間～3時間程度前	レベル3警報	警戒	高齢者等避難 第3次防災体制 （避難指示の発令を判断できる体制）	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
半日～数時間前	レベル2注意報	注意	第2次防災体制 （高齢者等避難の発令を判断できる体制） 第1次防災体制 （連絡要員を配置）	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
数日～約1日前	早期注意情報 （警報級の可能性）		・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

地震・津波発生時の行動

地震発生！



① **地震の揺れから身を守る**
- 落ち着いて、自分の身を守る。
- 火の始末、ガスの元栓を閉める。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。

② **津波警報を待たずに、ただちに避難する**
- 揺れがおさまったら、津波のおそれがある区域に居る人は、ただちに避難する。
- 「より遠く」ではなく「より高い場所」へ避難する。
- くずれたブロック塀や散乱したガラスなどに注意。
- できる範囲で、地域の要援護者の手助けを。

③ **津波情報を入手する**
- 安全な場所に移動してから、防災ラジオやテレビなどで情報を確認する。
- 間違った情報や、うわさ、デマなどに惑わされないように注意。

④ **避難施設や自宅へ移動する**
- 津波警報が解除されたら、一時的に避難した場所から、避難所などに移動し、家族と合流する。
- 避難生活では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ。

●災害伝言サービス

伝言の録音方法	伝言の再生方法
171にダイヤル	171にダイヤル
音声ガイダンスが流れる	音声ガイダンスが流れる
録音の場合 1	再生の場合 2
音声ガイダンスが流れる	音声ガイダンスが流れる
被災地の人の電話番号を入力 (×××)×××-××××	被災地の人の電話番号を入力 (×××)×××-××××

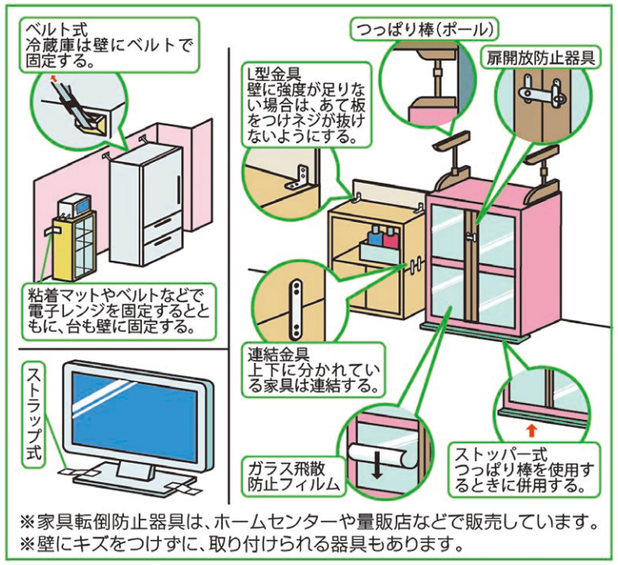
敦賀市ホームページ
https://www.city.tsuruga.lg.jp/index.html
トップページに緊急情報を表示します。

福井県防災ネット
https://www.bousai.pref.fukui.lg.jp/dis_portal/index.html
県内の雨量情報、避難情報、開設避難所、警戒体制、道路規制情報、その他情報を表示します。

【地震時】危険な場合、避難場所へ集合 → 安否確認
【津波時】垂直避難 3階以上の堅牢な建物へ

平常時の備え

※非常時の持ち出し品は各家庭で異なります。家族で話し合い必要な物を準備しましょう。



※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。



避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。



状況により、すばやく避難しましょう
避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。



家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。



防災メモを持とう
高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。



集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



車での避難は控えて
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は極力避けましょう。



安全なルートで避難
避難所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



非常持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックなどにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



避難所では指示に従いましょう
避難所に着いたら、避難所担当者の指示に従い、住所・氏名等を報告しましょう。

※福祉避難所とは…
　要配慮者（高齢者や障がい者など）と付添いの家族等を対象とし、指定避難所（学校、コミュニティセンターなど）での生活が困難で、避難所生活に何らかの特別な支援が必要な方のために開設する避難所です。